Karibu Kenya!

☆JICA 海外協力隊　ケニア通信 No.6☆　　２０２６年９月２２日　　発行者:夏目佳代子

Habari gani?（ハバリ ガニ？）お元気ですか？　こちらは、朝晩は２０度前後、晴れると昼間は３０度近くまで上がり、日差しが強いです。日本の湿気の多い夏と思うととても過ごしやすいですが、ケニアでは１年で一番寒い季節。曇って気温が上がらない時はダウンを着ている人、ニット帽をかぶっている人もいます。更生学校のスタッフルームでイスに座ったらなんだか足元が温かい・・何でかなと思ってテーブルの下をのぞき込んだら、、なんと火鉢がありました。驚いていると、「今日の朝は寒かったから。」 と言っていました。私には涼しくてちょうどいいけどなあ。火鉢は暖をとるだけでなく、チャパティを焼くなど、調理にも使われます。

☆キリギティへやってきました。

ケニアには４７のカウンティ（行政区画）があります。私が活動するキアンブ郡は、ナイロビのすぐ北に位置します。キアンブ郡下には１２のサブカウンティがあり、その中の１つキアンブタウンの中にキリギティという町があります。

９月１日、キリギティにやってきました。まず数日間で生活の立ち上げを行います。部屋には何もついていないので、まずは電球とマットレスを購入。電気がついた時は「おーっ！」とうれしくなりました。続いて掃除。アパートの床はタイル張りが多いです。砂っぽいので何度か水拭きをしました。部屋はところどころ直角や並行でないところがあります・・

依頼していたグリルドア（格子付き防犯ドア）は、ちゃんとできあがっていました。アパートの契約をした後、グリルドアの見積書を作ってもらったのですが、なんと、内訳と合計金額が合わない！！ということがあり、ちょっと心配だったのです。ドアが２重になり、重い南京錠をつけて、しっかりとセキュリティ強化です。

更生学校のスタッフのペシュさんと一緒に町の中心部に行って、生活に必要なものを購入しました。どの店で買うとよいのかなど教えて下さり、とてもありがたかったです。道路脇にはさまざまなお店が並んでいます。

←これは何のお店でしょうか？

これはガス屋さんです。とってもカラフルなガスタンクが積み上げられています。ガス会社によってタンクの色が違うようです。店員さんが、かついでアパートまで運んでくれました。そして、スーパーマーケットでオーブンがついているガスコンロを購入し、配送をお願いしました。（ケニアの大きなスーパーマーケットは、食品だけでなく、家電や家具、洋服なども売っています。）「夕方４時～５時の間に届けます。」

ということで待っていましたが、５時を過ぎても届きません。電話をかけてみると、「６時半に行く。」とのこと。ポレポレです。６時過ぎ、スマホにショートメールが届きました。（ケニアでは、M-pesa での支払い、銀行での引き落としなどが行われると、ショートメールで連絡がきます。）「お客様の購入した商品が発送されました。到着時間は 15:00 の予定です。」「えっ？！！」５時とまちがえたのか、いや、でも今すでに６時過ぎてるし！！つっこみどころ満載です。結局、配送トラックが来たのは、

６時４５分。配送してくれた運転手さんは、部屋まで運ぶとガスタンクとコンロをホースでつなぎ、ちゃんと火がつくか試してくれました。その作業はとてもスピーディー。それくらいのスピードで届けてくれたらなあ、と思いましたが、まずは暗くなる前に無事に届いて、ガスが使えるようになってよし、と思うことにしました。

続いてベッドです。大きなスーパーマーケットにも売っていますが、町には家具屋さんもいくつかあり、道端にフンディが作った家具が並んでいます。フンディとは、スワヒリ語で職人さんのことです。家具を作る人も、服を作る人も、靴を直す人もみんなフンディ。ペシュさんが、更生学校の近くのフンディのジョセフさんのところへ連れて行ってくれ、マットレスに合うベッドのサイズを伝えて注文しました。後日、出来上がったと連絡があり、お店まで行くと、私のものと思われるベッドは道端に置かれていました・・　→これをどうやって運ぶのかというと、、、ピキピキ（スワヒリ語でバイクのことです）の荷台に乗せるのです！　町では時々、ソファや棚など大きなものを乗せたピキピキを見かけます。バランスがすごいです。そして、４階の部屋まで運んでもらいましたが、なんと、途中のドアでひっかかってしまって寝室に入りません！！　いろんな方向で試してもうまくいかず、片方だけ外してみてもまだ入らず、結局、ベッドを分解し、寝室の中で組み立ててもらいました。

よく見ると、まっすぐでないところや、ベニヤ板が割れているところもありますが・・ご愛嬌です。これでようやくちゃんと寝られると思いきや、マットレスを置いてみたら、ぎゅうぎゅう押し込まないと入りません！シーツも押し込む形でなんとか整いました。

今、フンディのジョセフさんに、テーブルとイスを注文中です。カタログなどはないので、インターネット上の写真などを見せてデザインのイメージを伝え、値段を相談した後、

私：　明日まで考えてもいいですか。

ジョセフ：いいよ。じゃあ明日朝８時半に電話かけて、それからお店に来てね。

次の日８時半に電話したけどつながらず・・店まで行くと、店の前にジョセフさんが座っていました。

私：　おはようございます。８時半に電話したんだけどつながらなくて・・

ジョセフ：そうか、かかってこなかったなあ。（手には携帯電話）

私：　あれ？　何でだろう？　来る前にかけたんですけど・・

そして、テーブルとイスを注文しました。その次の日、ジョセフさんから電話がかかってきました。

ジョセフ：朝電話がかかってきたけれど、なんだった？

私：　えっ？　今日はかけていません。電話したのは昨日の朝です～

ジョセフ：おお、そうか。じゃあ、今日もよい１日を。

時間がどこかでとまっているのかな・・　テーブルとイスも予定日までにできるか分かりませんが、どんなのができるか楽しみに待ちたいと思います。それまでは、帰国した隊員に譲ってもらったヨガマットに座り、スーツケースをテーブル代わりにして過ごしています。　　それではまた！ Tutaonana!

☆ケニア通信作成中